



平成 28 年 9 月 30 日

QB 第一号ファンド 「五稜化薬 株式会社」 への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、三件目の投資案件となる「五稜化薬 株式会社（代表取締役 丸山 健一）」（以下「当社」）へ出資しましたので、お知らせします。

当社は、独自の研究試薬事業ならびに東京大学大学院薬学系研究科 浦野 泰照 教授の研究成果を活用した診断薬事業を展開する大学発ベンチャー企業であり、九州大学の教授がアドバイザーを務め、鹿児島大学病院等九州の病院で臨床試験を進めています。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャー企業の成長を積極的に支援してまいります。

記

1. 対象企業概要

会社名	五稜化薬 株式会社
本社住所	北海道札幌市北区北 21 条西 12 丁目 2 北大ビジネス・スプリング 2 階
代表者	代表取締役 丸山 健一
設立	平成 22 年 7 月 16 日
事業内容	機能性蛍光プローブ*の販売・受託合成および機能性蛍光プローブを用いたがん外科手術向けナビゲーションドラッグの開発
資金使途	臨床試験等の開発資金等

*機能性蛍光プローブとは、選択的に測定対象のみを捉え、測定対象捕捉後に強い蛍光を発する分子の総称。

2. 出資概要

本件は、新たな蛍光ナビゲーションによる外科手術の実用化を目指す当社の下記の点を評価し出資しました。

(1) 将来性

がん患者は国内外で増加傾向にあり、がん外科手術分野においても大きな市場規模が見込まれる。

(2) 高い技術力

世界初の蛍光プローブ設計技術（発明者：東京大学/浦野 泰照 教授）を応用し、蛍光プローブによってがんを可視化し、外科手術においてナビゲーションを行えるドラッグ（ナビゲーションドラッグ）の開発（応用特許保有）を行っている。当社が開発を行うナビゲーションドラッグと従来の検査を組み合わせることによって、より高い精度でがんの検出が実現可能となる。

以 上

参 考

『QB 第一号ファンドについて』

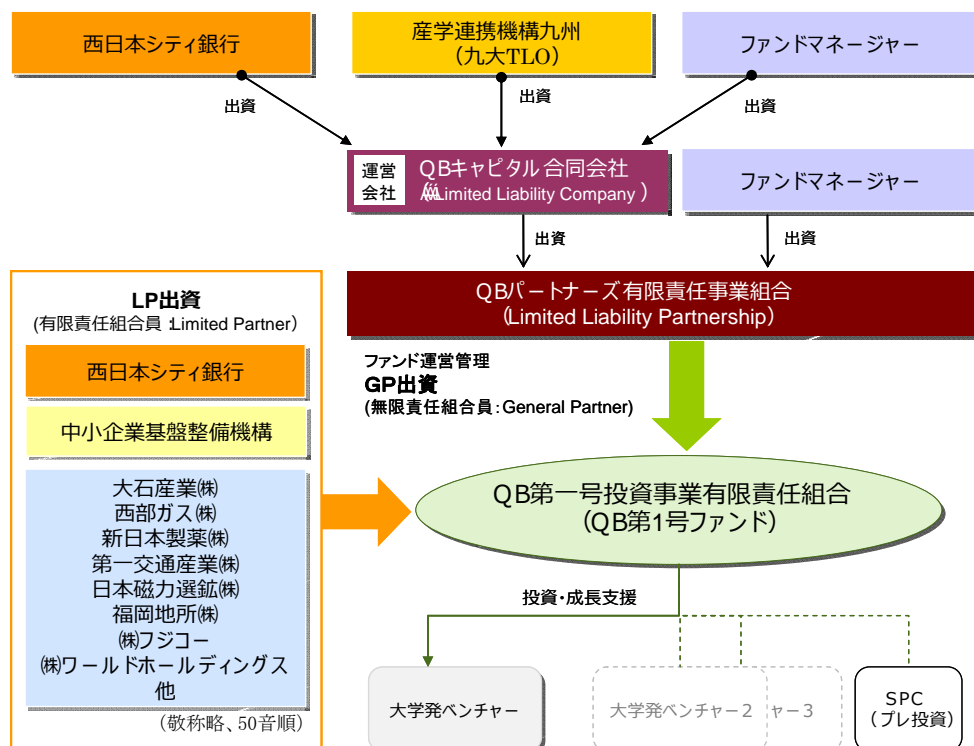
1. ファンドの概要

名 称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設 立 日	平成 27 年 9 月
フ ァ ン ド 総 額	約 31 億円
無 限 責 任 組 合 員 (GP : General Partner)	QB パートナース有限責任事業組合
有 限 責 任 組 合 員 (LP : Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社 他
存 続 期 間	10 年間

2. 運営会社の概要

名 称	QB キャピタル合同会社
設 立 日	平成 27 年 4 月
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出 資 者	株式会社西日本シティ銀行 株式会社産学連携機構九州 他
代 表 社 員	坂本 剛 本藤 孝

3. ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
 法人ソリューション部 渡辺・折尾 TEL092-476-2741